

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮城方牧野北第2期高層住宅	階数	地上13F
建設地	枚方市牧野北町138番2の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防風	平均居住人員	474 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2016年10月1日
敷地面積	12,973 m ²	作成者	株式会社借設計
建築面積	1,297 m ²	確認日	2016年10月1日
延床面積	11,619 m ²	確認者	富村幸雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 460 506 552 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 周辺の環境に配慮しながら高層・高密度化の建て替え計画とし、高層化により生じるスペースを公園・緑地などに整備し、住民の高齢化にも対応した計画とする。		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 内装建材にF☆☆☆☆建材を使用し、室内環境の向上に配慮する。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 バリアフリー化、耐震性の向上を図る建物としている。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内に公園、緑地を整備し魅力ある住環境を計画した。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各住戸が南向きとし、北、南の2方向に開口部を有し、採光、通風に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 汚染物質含有資材を使用しない	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高層化による圧迫感をさけるため、広場、緑地空間を十分確保し、憩いの空間を確保した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0106

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	大阪府営枚方牧野北第2期高層住宅(建て替え)新築工事
	建設地	枚方市牧野北町138番-2の一部
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
---------------	----------------	--	-----------

	CO2削減		4
--	-------	--	----------

	省エネ対策		3
--	-------	--	----------

	みどり・ヒート アイランド対策		3
--	--------------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		

エネルギー消費量の報告		対象外
-------------	--	-----

【評価項目】

省エネルギー対策	① CO2削減		
	② 省エネ対策		

項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体: 3.0 住戸・宿泊: 3.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.4
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない

みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
-------------------	------------------	--	--

項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		